令和４（2022）年度創発支援研究　採択者一覧

No.	氏名	学部等	職名	研究課題名
1	内原　脩貴	未来先端研究機構	研究員	DNA 損傷によって誘導される非典型的な翻訳開始メカニズムの研究
2	吉田　由香里	重粒子線医学推進機構	助教	炭素線による FLASH 効果の検証とその機序の解明
3	佐伯　浩司	大学院医学系研究科	教授	難治性消化器がん根絶へ向けた新たな複合的がん治療モダリティーの開拓
4	井上　裕介	大学院理工学府	教授	核内受容体による痩せ型の非アルコール性脂肪性肝炎の発症機構の解明
5	覚知　亮平	大学院理工学府	助教	電解紡糸技術と多成分連結反応の組み合わせによる天然多糖類由来バイオマテリアルの創出
6	奥西　勝秀	生体調節研究所	准教授	病原性免疫細胞の分化誘導機構の解明
7	武井　雄一	大学院医学系研究科	准教授	統合失調症のミクロなネットワーク構造変化と精神症状との関係
8	鳥居　征司	食健康科学教育研究センター	教授	揮発性化合物の脳保護機能の解明
9	神尾　ちひろ	大学院理工学府	助教	日常生活における手首挙動データを利用した人工肘関節の耐久性指標の提案
10	LIU YUJIA	大学院理工学府	特任助教	材料の常識を覆すケイ素化合物の開拓

令和５（2023）年度創発支援研究　採択者一覧

No.	氏名	学部等	職名	研究課題名
1	横堀　武彦	未来先端研究機構	准教授	難治性の小児神経芽腫患児に新規治療ツールを届けたい：新規開発したSTMN1阻害剤の小児腫瘍への応用を目指して
2	福中　彩子	生体調節研究所	助教	亜鉛シグナルによるメタボとロコモの調節機構：脂肪と骨格筋におけるZIP13 の役割を解明する
3	窪田　恵一	大学院理工学府	助教	発電型底質改善技術の適用範囲拡大に向けた発展途上国対応型の装置の検討
4	酒井　真理	重粒子線医学推進機構	助教	放射線治療が医療機器に生じさせるソフトエラーの発生確率評価手法の開発
5	堂本　悠也	大学院理工学府	准教授	協働型アセチレン配位を基盤としたメゾスコピック領域における物質合成法の開発
6	二宮　和美	大学院理工学府	助教	穀物タンパク質の機能性および加工特性に関する研究
7	一ノ瀬　聡太郎	大学院医学系研究科	助教	海馬抑制性ニューロンにおけるテニューリン２の役割と精神疾患治療を目指した創薬開発への臨床的応用
8	Bilguun Erkhem-Ochir	未来先端研究機構	研究員	Development of small molecule inhibitor targeting HIKESHI, as a new potent anti-cancer treatment.

令和6（2024）年度創発支援研究　採択者一覧

No.	氏名	学部等	職名	研究課題名
1	神谷　厚輝	理工学府	助教	タンパク質の集積・分散を用いた新規リポソームバイオリアクタの構築
2	樋山　みやび	理工学府	准教授	ホタル生物発光の動的計測に向けたケージドルシフェリン-酵素複合体の開発
3	藤原　亜希子	食健康科学教育研究センター	講師	昆虫共生細菌を標的としたファージによる新たな農業病害虫制御技術開発を目指した基礎的研究
4	服部　奈緒子	生体調節研究所	教授	精神的ストレス曝露が末梢組織の発がんに影響する仕組みの解明
5	森田　純代	生体調節研究所	助教	エピゲノムの多様性が次世代の表現型に影響を与えるメカニズムの解明
6	石井　聖二	医学系研究科	講師	環境ストレスに起因する非細胞死型カスパーゼによるシナプス形成障害機構の解明
7	須賀　孝慶	医学系研究科	研究員	内因性グルカゴン、GLP-1、GIP分泌による生活習慣病治療法の開発
8	高橋　剛	理工学府	准教授	インテイン連鎖反応によるウイルス高感度検出法の開発

令和7（2025）年度創発支援研究　採択者一覧

No.	氏名	学部等	職名	研究課題名
1	張　浩浩	理工学府	助教	光シナプスメモリスタを用いたニューロモルフィック・インメモリコンピューティングによる省電力UAV推論チップの開発
2	尾池　貴洋	医学部附属病院	講師	次世代の重粒子線がん治療計画法の確立
3	長坂　崇司	医学部附属病院	助教	僧帽弁輪石灰化の定量評価と分子機序解明、および経カテーテル治療の臨床転帰への影響
4	LI　SHUO	理工学府	助教	脳型ニューラルネットワークのためのバイオ有機シナプスメモリスタの開発
5	金　舞	医学部附属病院	助教	次世代アミノ酸代謝画像に基づく口腔癌サロゲートマーカー探索：Radiogenomicsアプローチ
6	小林　里江子	理工学府	助教	「湾曲カーボン網面構造を基盤とした電子局在プラットフォームの創出」
7	神出　誠一郎	医学系研究科	教授	海馬リップル波の非侵襲的計測を用いた早期認知機能低下に関する病態解明の予備的検討を含む新規バイオマーカー確立
8	大上　桜香	未来先端研究機構	研究員	迅速かつ簡便な間質分泌因子抽出手法の最適化と、抗体医薬開発に向けた創薬技術基盤の確立